



1/16

もうすぐはじまるワクワクの小学校生活！ 新入学児童に町内産のランドセルを贈呈

ランドセル贈呈式が1月中旬から各小学校で行われました。この日は鮎貝小学校で行われ、佐藤町長から「春にはこのランドセルを背負い、元気に登校して欲しい」と激励のあいさつの後、代表で我妻空桜さんにランドセルが手渡されました。

この事業は、新入学児童の入学を祝いランドセルを贈呈するもので、今年で9年目を迎えます。子どもたちが選んだ色に合わせて、町内のかばん製造業「有限会社らんどーる山形（山口和繁社長）」でひとつひとつ丁寧に作られます。今年は、入学予定の74名全員に町内産のランドセルが送られました。



▲佐藤町長よりランドセルを受け取る新入学児童（鮎貝小学校）

1/17

中国の子どもたちと紙飛行機をつくる 鮎貝小学校の児童が国際交流

この日、「白鷹町・中国野球スポーツ少年団交流事業」で来町していた中国の子どもたちが鮎貝小学校を訪れ、5年生の児童たちと交流しました。

鮎貝小学校の児童たちは、紙飛行機の折り方を中国の子どもたちに教え、完成した紙飛行機を飛ばしながら遊びました。最後に、中国の子どもたちから交流のお礼にと児童たちへパンダのぬいぐるみがプレゼントされ、「とても美しい町だった。また来たいです」と喜びの声が聞かれました。言語や文化は違えど、交流することの楽しさを感じた時間となったようです。



▲紙飛行機の折り方を伝える児童

1/22

永年の功績をたたえて 中央共同募金会会長表彰を受彰

白鷹町こぶし会赤十字奉仕団（佐藤れい子会長）が中央共同募金会会長表彰を受賞され、その報告のため来庁されました。これは、赤い羽根共同募金運動を継続的に行い、社会福祉の増進に貢献された団体等に送られるものです。

白鷹町こぶし会は、赤十字奉仕団として日頃よりさまざまなボランティア活動を行っている団体です。活動の一つとして、毎年ショッピングセンターなどで歳末たすけあい運動の街頭募金を行っています。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。



▲賞状を手にする白鷹町こぶし会赤十字奉仕団会員の方々



1/9

志新たに、挑戦の年へー

白鷹中学校で「登り鯉の会」を開催

この日、白鷹中学校2年生の生徒を対象に、登り鯉の会が開催され、長井市の高橋鯉店より提供いただいた鯉の甘露煮を給食で味わいました。

給食の前には、高橋鯉店の方より置賜地域における鯉の食文化の歴史などをお話いただきました。生徒を代表して今莉々さんが、「目標実現に向け、高みを目指して頑張ります」と来年度に向けての決意を力強く述べました。その後、さっそく鯉を食べた生徒は、「食べるのが難しかったけど、身が引き締まっていたとても美味しかった」「皮とウロコがパリパリして食べ応えがあった」と笑顔を浮かべていました。



▲身が引き締まっており、とてもおいしい鯉でした

1/14

美しい文字を手に入れよう！

蚕桑地区で「美文字教室」を開催

蚕桑地区で集落支援員を務める齋藤ゆかりさんが、活動の一環として美文字教室を開催しています。

この教室は、定期的で開催されており、性別や年齢問わず文字を美しく書くコツをみんなで楽しく学べなっています。この日も、男女あわせて10名の方が参加し、お手本を参考にしながら丁寧に練習していました。非常に和やかな雰囲気の中で楽しく学べるということもあり、人気の講習会となっています。次回以降、参加希望の方は、蚕桑地区コミュニティセンター（☎85-2153）までお問い合わせください。



▲齋藤支援員が丁寧に教えてくれます

1/16

人権擁護委員として長年ご尽力

嶋林淳子さんが法務大臣より感謝状を受賞

12月で人権擁護委員を退任された嶋林淳子さんに、法務大臣および白鷹町長より感謝状が贈呈されました。

嶋林さんは、平成28年に委嘱されてから3期9年にわたり、置賜の相談会、町内にて実施の相談会や人権の花植え、人権教室にご尽力されました。

各小学校で実施している人権教室では、「白い魚とサメの子」の紙芝居をやさしく、温かい声で読み上げ、児童たちが自分らしさや命の大切さを学び、人権について知る機会を与えてきました。長きにわたりありがとうございました。



▲感謝状を手にする嶋林さん